

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長 小関 雅彦	
健福-58	体育施設管理運営事業	☒ 自治事務	主管課	スポーツ課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(6) スポーツ・レクリエーション	施策の方針	4-(6)-①スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等がスポーツ施設で気軽に楽しむことができるよう、スポーツ施設の適正な管理やスポーツに関する情報の発信を行うため
効果	スポーツ施設の適切な管理運営等を行い、より多くの市民等の利用促進を図る

2 令和5年(2023年)度に実施した事業の概要

- ・市民の誰もが「いつでも」「どこからでも」スポーツ施設の予約や抽選、空き状況の確認ができるよう、神奈川県公共施設利用予約システムの適正な運用を行った。
- ・市民が身近なところで、気軽に参加でき、また、自ら主体的にスポーツ・レクリエーションが行えるよう、場の提供を行った。
- ・指定管理者制度により、スポーツ施設の効率的な管理運営を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度	令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	神奈川県公共施設利用予約システム運用事務	予約システム運用事務 (電信料・負担金)	—	— / — 6,311 / 6,298	— 4,648	
02	体育館管理運営事務	施設指定管理料	利用人数(人)	269,797人 / 457,600人 104,552 / 100,438	270,000 98,870	
03	鎌倉海浜公園水泳プール運営事務	プール運営	利用人数(人)	12,417人 / 13,800人 38,714 / 55,326	13,800 48,625	90.00%
04	西御門テニスコート運営事務	テニスコート運営	利用人数(人)	5,234人 / 6,000人 7,959 / 8,355	6,000 8,845	87.30%
05	深沢多目的広場運営事務	広場の運営	利用日数(日)	22,808日 / 30,000日 103,796 / 5,810	8,000 8,128	76.10%
06	スポーツ施設維持修繕事務	指定管理施設運営	工事進捗(%)	100% / 100% 6,913 / 6,743	100 63,072	100%
07	こもれび山崎温水プール維持修繕事務	施設大規模修繕工事	工事進捗(%)	100% / 100% 7,915 / 7,923	100 8,023	100%
08	一般事務経費	消耗品費	—	— / — 3,491 / 3,921	— 13,631	
		財源内訳	国県支出金	/		
			地方債	/	27,200	
			その他特定財源	1,087 / 1,778	1,778	
			一般財源	278,564 / 193,036	224,864	
			事業費の合計(千円)	279,651 / 194,814	253,842	
			人件費(千円)		14,274	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	1.8	1.6	1.5	1.5	
会計年度任用職員	3.0	3.0	3.0	2.0	1.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	神奈川県公共施設利用予約システム運用事務	神奈川県公共施設利用予約システムを活用することにより、事務を行うことから、指標の設定はなじまない。	神奈川県公共施設利用予約システムを活用することにより、市民がスポーツを行う場の提供に寄与した。	先進市のシステムと比べ、使い勝手が悪く汎用性がない。
02	体育館管理運営事務	新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、施設運営はコロナ禍前の状況に戻り、目標には達していないものの利用者数は増加傾向にある。	指定管理者制度により、市民のスポーツに対するニーズやライフステージに応じた施設運営ができた。	指定管理者と十分な連携を図り、利用者のニーズに合った施設運営を行い、利用者の増加につなげることが必要である。
03	鎌倉海浜公園水泳プール運営事務	新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、施設運営はコロナ禍前の状況に戻り、目標には達していないものの利用者数は増加傾向にある。	夏季期間に市民が気軽に来場できる屋外プールを運営し、体力・健康づくりに寄与した。	鎌倉海浜公園水泳プールは、西側で崩落している急傾斜地の崖地対策と、築60年以上経過している施設や設備の維持が課題となっている。
04	西御門テニスコート運営事務	天候の影響により利用者数は減少したが、概ね年間を通してコートの利用を提供できているため、引き続き運営を続けていく。	市民が気軽に利用できるテニスコートを運営し、体力・健康づくりに寄与した。	国大附属からの借用地であることから、受益者負担金の徴収ができない。
05	深沢多目的広場運営事務	深沢多目的スポーツ広場は、令和6年1月末日をもって暫定利用を終了したため、利用者数は減となった。	年間を通して、スポーツ団体等が利用できる広場を提供し、競技スポーツのきっかけづくりに寄与した。	深沢多目的スポーツ広場の代替施設として山崎浄化センタースポーツ等広場を開設したが、この広場も暫定利用であることから、今後の深沢地域整備に向け、代替地検討を継続する必要がある。
06	スポーツ施設維持修繕事務	修繕計画に基づき修繕工事を実施した。	安全に施設が利用できる状況を維持するために必要不可欠な事業である。	老朽化が進んでいるため、引き続き維持修繕を実施する必要がある。
07	こもれび山崎温水プール維持修繕事務	修繕計画に基づき修繕工事を実施した。	安全に施設が利用できる状況を維持するために必要不可欠な事業である。	老朽化が進んでいるため、引き続き維持修繕を実施する必要がある。
08	一般事務経費	消耗品等共通的な経費で指標の設定に適さない。		

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー スポーツ協会・レクリエーション協会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☐ 拡充 ☐ 改善・変更 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止

- ・指定管理者制度の活用等による管理運営により、市民等が安全にスポーツを行う環境を提供することができた。
- ・老朽化している施設や設備について、市民が安全かつ快適に利用できるよう、引き続き維持修繕等を行っていく必要がある。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	鎌倉海浜公園水泳プール利用者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	35,000.0	35,000.0	6,900.0	13,800.0	13,800.0		
	実績値	0.0	8,429.0	8,430.0	12,417.0			
	達成率	0.0%	24.1%	122.2%	90.0%			

指標(単位)	指定管理スポーツ施設利用者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	457,600.0	457,600.0	457,600.0	457,600.0	270,000.0		
	実績値	170,501.0	224,541.0	250,696.0	269,797.0			
	達成率	37.3%	49.1%	54.8%	59.0%			

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	近隣各市のスポーツ施設数(上段:屋内施設 下段:屋外施設)							
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市		
他市実績	4	2	3	2	3	1		
	2	11	12	9	5	3		

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う
他市比較に関する考え方

本市の体育館は規模が小さく老朽化も進んでいるが、数が多いことを活かし、地域の要望に合わせた教室やイベントの開催などのソフト面のサービスを充実させ、市民の満足度を維持していく。
屋外グラウンド等については、県内他市の平均と比較して整備数が少ないため、スポーツ団体は市民大会等の開催に苦慮している実情がある。新規に整備できるまでは代替場所の使用などで補えるよう、情報収集に努めていく。